

ケ 消 防

事業名	防火水槽整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算	款	09	消防費	
			科 目	項	01	消防費	
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	目	03	消防施設費	
主管課	消防本部	消防防災課	主管課長	高市 薫		事業コード	03 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	火災により救護等を必要とする市民			消防水利の適正配置として消火栓に偏らず防火水槽とのバランスがとれた防火対策を強化する。			
事業内容	消防法第20条第1項の規定により定められた「消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）」に基づき、市内の消防水利の充実を図るため、防火水槽の設置を行う。						
事業の実績	消防水利の基準による充足率	78.0 %		決算額	事業費計		15,255,000 円
					国庫支出金	7,627,500 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	7,600,000 円	
					その他特定財源	27,500 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	消防水利の基準における防火水槽の容量は40m ³ 以上とされるが、過去に整備された防火水槽には40m ³ 未満の容量のものも設置されている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無			
				有	継続費の設定		無
			前年度からの明許繰越額15,255,000円				



新たに整備した防火水槽

事業名	消防指令業務共同運用事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算	款	09	消防費	
			科目	項	01	消防費	
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	目	03	消防施設費	
主管課	消防本部	消防防災課	主管課長	高市 薫		事業コード	04 - 58
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	災害等の出動指令及び情報伝達		千葉北西部消防指令センターにて受報した災害等の通報に対し、迅速・的確に出動指令及び情報伝達を行うことにより、災害に対する被害の軽減を図る。				
事業内容	平成25年4月から松戸市、市川市、野田市、浦安市、鎌ヶ谷市、流山市の6市により、松戸市消防局内に設置された千葉北西部消防指令センターにおいて消防指令業務が開始されたものである。						
事業の実績	救急車の現場到着時間	7分51秒		決算額	事業費計		58,985,694 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	58,985,694 円			
指標で表すことができない定性的な成果	近隣市への応援と当市への受援が迅速に対応可能となった。		繰越の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



指令管制室内の様子

事業名	高規格救急自動車整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算	款	09	消防費	
			科	項	01	消防費	
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	目	03	消防施設費	
主管課	消防本部	消防防災課	主管課長	高市 薫		事業コード	05 - 65
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	高規格救急自動車			当該車両の更新整備により、救急救命士が救急救命処置等を積極的に実施し、救命率の向上を図る。			
事業内容	平成18年度に購入した中央消防署高規格救急自動車は、救急出動の増加等に伴う老朽化が著しいため、更新整備を実施し迅速かつ適確な救急体制の確立を図る。						
事業の実績	救急救命処置実施件数	178	件	決算額	事業費計		33,457,508 円
	救急出動件数	6,771	件		国庫支出金	14,549,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	15,900,000 円	
					その他特定財源	0 円	
一般財源	3,008,508 円						
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無	



更新整備した高規格救急自動車

事業名	自主防災組織防災資機材整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算	款	09	消防費	
			科目	項	01	消防費	
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	目	05	災害対策費	
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鶴巻 浩二		事業コード	02 - 58
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	自主防災組織		自主防災組織の防災力の向上及び共助意識の醸成を図る。				
事業内容	自主防災組織が使用する防災資機材の購入に要する経費の一部を補助する。また、より効果的な補助事業となるよう制度の統廃合、見直しを行う。						
事業の実績	防災資機材整備事業補助金活用自主防災組織	34	組織	決算額	事業費計		1,642,000 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	1,642,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



1. ハロゲン投光器



2. 発電機



購入した防災資機材

事業名	防災行政無線戸別受信機整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算	09	消防費		
			科目	01	消防費		
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	05	災害対策費		
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鶴巻 浩二		事業コード	02 - 61
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	避難所等及び市民等			災害時における情報伝達手段の多様化を図る。			
事業内容	防災行政無線の戸別受信機を災害時に避難所となる公共施設及び自治会等に整備する。						
事業の実績	戸別受信機整備数（累計）	297	台	決算額	事業費計		5,666,986 円
	(平成24年度整備)	58	台		国庫支出金	1,600,000 円	
	(平成25年度整備)	239	台		県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	4,066,986 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	無



配置した防災行政無線の戸別受信機

事業名	新市街地地区小中学校併設校防災拠点整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算	款	09	消防費	
			科目	項	01	消防費	
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	目	05	災害対策費	
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鶴巻 浩二		事業コード	02 - 63
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	市民等			災害時に防災拠点でもある避難所に避難した人の命を守り安心安全に資する。			
事業内容	おおたかの森小・中学校に防災施設を整備し防災拠点とする。防災備蓄倉庫、災害用井戸、マンホールトイレ、ヘリサイン、避難所等案内板及び防災行政無線を整備する。						
事業の実績	防災備蓄倉庫整備済件数（累計）	26	件	決算額	事業費計		57,012,400 円
	マンホールトイレ	10	か所		国庫支出金	20,361,200 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	24,300,000 円	
					その他特定財源	1,823,000 円	
一般財源	10,528,200 円						
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 有 平成25年度からの2か年継続事業53,869,000円 平成26年度決算額49,204,000円 うち前年度からの繰越額3,523,000円					



防災行政無線屋外子局

事業名	災害用井戸設置事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算	款	09	消防費	
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	科 目	項	01	消防費	
				目	05	災害対策費	
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鶴巻 浩二		事業コード	03 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） 市民等		意図（どういう状態にしたいのか） 災害時における生活用水を確保する。 また、飲用に適するかの水質検査を実施し、補助的な手段として飲料水の確保を行う。				
事業内容	避難所となる小・中学校、公民館等に災害用井戸を設置する。また、既設の災害用井戸水の有効活用を図るため、水質検査を実施する。さらに、災害用井戸に、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等の整備を図る。						
事業の実績	整備件数（累計）	31 件		決算額	事業費計		6,806,376 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	2,200,000 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	4,606,376 円			
指標で表すことができない定性的な成果	災害時に生活用水を供給し、市民の安全・安心に寄与する。 有効利用のため水質検査を実施し、飲料水を確保する。		繰越の有無	無	継続費の設定	無	繰越の有無
			繰越の有無	無	継続費の設定	無	繰越の有無



電動化した小山小学校の災害用井戸(原水のままでは飲用できない。)

事業名	防災備蓄倉庫設置事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算	款	09	消防費	
			科目	項	01	消防費	
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	目	目	05	災害対策費	
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鶴巻 浩二		事業コード	05 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	市民等			食糧、飲料水及び生活必需品を入手できなくなった市民等に対して配給する。			
事業内容	主要な避難所となる小中学校の余裕教室の利用や他の市施設等に防災備蓄倉庫を設置する。						
事業の実績	防災備蓄倉庫整備件数（累計）	26 件		決算額	事業費計		24,497,716 円
					国庫支出金	3,000,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	2,700,000 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	18,797,716 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



東小学校の防災備蓄倉庫